

議案第3号

平成29年度 金沢港振興協会事業計画

金沢港における、コンテナ貨物取扱量は、平成28年に過去最高取扱量を更新した。金沢港のコンテナ貨物取扱いのシェアの大半を占める中国の貨物量が前年並みに落ち着いたことや、インド向けの輸出貨物が増えたこと、また、県外企業他港からの切り替えによる輸入貨物が増えたこと等による。

中国貨物の拡大が見込めない状況の中、東南アジア方面貨物の一層の取り込み強化や物流企業とも連携した貨物の底上げを図ることが喫緊の課題である。

クルーズ客船の金沢港寄港については、平成28年は過去最多の30本の寄港であったが、29年には1.8倍の54本の寄港が予定されている。

今後の取組みとしては、石川県において前後泊が期待でき、経済効果の高い「金沢港発着クルーズ」の定着に向け、乗船客の確保に取り組むこととしている。

29年度においても、モノと人が活発に交流する「日本海側の国際物流拠点港並びに外航クルーズ拠点港」を目指し、石川県や金沢市など関係機関とも連携し、官民一体となって貨物集荷と定期航路の充実、クルーズ船誘致とクルーズ人口の拡大に向け、下記の事業の実施について積極的に取り組み、さらなる金沢港振興に繋げてまいりたい。

1 港湾振興のための要望活動の実施

金沢港の港湾機能の充実と利便性向上のために、次の事項の実現に向けて、関係機関に働きかけていく。

- ① 大浜国際物流ターミナルの水深13m化の早期完成
- ② 無量寺岸壁の水深10m化と耐震化の早期整備
- ③ 日本海側拠点港としての機能強化
※C I Q・待合施設の整備、アクセス道路の整備、コンテナ上屋の集約
- ④ 貨物の国際定期航路の新設・拡充
- ⑤ 貨物利用向上のためのポートセールスの推進
- ⑥ 大型クルーズ船受入体制の充実強化と寄港の誘致推進

2 物流の拡大事業の実施

金沢港の取扱貨物の更なる利用拡大を図るために、次の事業を積極的に推進していく。

- ① 金沢港セミナー及び利用促進のための懇談会の開催
- ② 県内企業の地元港利用促進のために、荷主への物流ルート変更のトライアル輸送の推進
- ③ 東南アジア、中国、韓国への海外ポートセールスの推進
- ④ 複数の企業が同一の船で貨物を共同輸送する合い積み輸送の推進
- ⑤ 物流企業との連携による集荷・配送・在庫管理等のサービス提供

3 貿易貨物の拡大に向けた助成事業の実施

金沢港の貨物取扱の利便性向上・利用拡大を図るため、荷主・船社等に対するインセンティブとして、次の助成制度について、周知と円滑な交付

- ① 金沢港利用のコンテナ貨物量が3カ年平均より増大した荷主に対する一部助成
- ② 物流事業者と連携した金沢港利用転換促進に対する一部助成
- ③ 物流ルートを他港から金沢港に変更する荷主のトライアル輸送に対する一部助成
- ④ 県営くん蒸上屋施設を利用した荷主に対する利用料の一部助成
- ⑤ 定期航路を開設している船社に対する入港・岸壁使用料の一部助成
- ⑥ 合い積み船を寄港させる船社に対する引き船使用料、岸壁使用料の一部助成
- ⑦ 冬季（11月～2月）荒天時に入出港する船社に対する引き船使用料の一部助成
- ⑧ 定期航路を開設している船社に対する埠頭間の貨物移送料の助成

4 クルーズ船誘致の強化

金沢港へのクルーズ船誘致による交流人口増大と背後地の経済効果拡大を図るため、次の事業を実施する。

- ① クルーズ船寄港時の歓送迎イベントの実施と寄港地観光コース等の紹介
- ② 石川らしいもてなしで、クルーズ船の歓送迎を行うため、「金沢港クルーズ・ウェルカム・クラブ」の活動推進
- ③ 海外クルーズ船社の幹部招聘と観光プランの提案及び海外クルーズ見本市でのセールス並びに誘致活動の実施
- ④ 金沢港発着クルーズの乗船客拡大のため、県内外でのクルーズセミナーの開催
- ⑤ 日本海定期周遊クルーズ定着のため、日韓の5港湾の都市連携を実施
- ⑥ コスタクルーズ社による日本海定期周遊クルーズの受け入れ体制の強化
- ⑦ 欧米ラグジュアリー船誘致のため、日本海・瀬戸内海の5港湾の都市連携実施
- ⑧ 金沢港発着クルーズ定着促進のための旅行会社と連携した集客促進に対する助成措置

5 広報宣伝事業の実施

金沢港の港湾機能やサービス内容等について、広く啓蒙普及を図り、利用拡大を働きかける。

- ① 金沢商工会議所等の会報を利用した広報、会員へのメール配信での情報提供
- ② 金沢港の港湾機能、インセンティブ、クルーズ等のパンフレット作成と啓蒙普及
- ③ FMラジオ、協会ホームページによる広報活動や金沢みなと会館のPRコーナーの充実
- ④ 金沢港視察・見学会の受入れ・案内
- ⑤ 「海の日」にちなみ「港フェスタ金沢2017」を開催（7月15日（土））

6 調査研究事業の実施

金沢港の国際物流拠点化を目指し、当面抱える諸課題について、調査研究を行う。

- ① 金沢港の貿易取扱量の太宗を占める中国、韓国、東南アジア地域の投資環境や社会情勢、物流戦略等の調査研究